

指定管理施設(総合福祉センター)事業評価表
 太平老人福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R2 年度	R3 年度					
いきがいづくり、 教養講座運営事業	1	教室・サークル	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		パソコン教室 (初級)	44	毎週月曜日	趣味や教養の向上を目的とするとともに、楽しく充実した生活が送れるよう、仲間作りの場を提供する。			40	340	33	265	●教室は8月～9月の緊急事態宣言による休館時と、1月～3月のまん延防止重点措置による休講時には、講師や受講生に電話で状況の確認と日程調整、報告を実施した。 ●教室前後に机や椅子の拭き消毒、一人一台の机を使用し、十分な距離の確保ができた。また、体調確認、マスクの着用、定期的な換気にご協力いただいた。 ●定員に満たない教室は6月から追加募集を行い、各教室、新規の受講生が参加された。教室受講だけでなく、単発事業、季節行事、他の教室等をPRし、参加に繋げた。 ●サークルの「野菊の会・布ぞうり」「お茶お花」「パソコン同好会」「布ぞうり同好会」は令和2年度での母子・父子福祉センターの廃止により、令和3年度から運営を支援している。 ●各サークルはコロナウイルス感染防止策として、マスク着用、手指消毒、体調管理(受付票の提出)、定期的な換気等と呼びかけ、ご協力いただいた。また、座る位置の間隔を開けたり、道具の共有をしないよう工夫された。 ●各サークルは長年活動されているため、事情で辞める方もあり参加人数に減少傾向がみられるが、パソコン教室からレベルアップのために移行したり、興味があるサークルのチラシを見て問い合わせがあれば紹介しPRに努めた。 ●教室やサークルで日々丹精込めて制作された作品を3階ショーケースに順次展示し、多くの方々に見ていただく場を提供し、令和4年度も順次展示する。 ●「習字サークルこぶし」は他の教室と統合し、「編物」は講師の体調不良により令和3年度で終了となった。
		絵手紙教室	24	第2・4火曜日				20	229	21	234	
		ペン習字	23	第1・3水曜日				21	222	18	165	
		習字教室	24	第1・3木曜日				21	237	21	187	
		水彩画	24	第2・4月曜日				19	102			
		野菊の会 (布ぞうり)	24	第1・3月曜日						18	73	
		水彩わかば	24	第2・4月曜日				18	139	20	162	
		さざんか句会	12	第2火曜日				10	54	11	58	
		お茶・お花	11	第1水曜日						9	114	
		水彩画水曜会	24	第1・3水曜日				17	94	18	102	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		令和2年度の 実施状況		令和3年度の 実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、 課題分析、自己評価
					R2 年度	R3 年度					
		パソコン同好会	24	第1・3水曜日					22	129	
		編物	24	第2・4水曜日			17	114	18	124	
		習字サークル こぶし	24	第2水曜日 第4金曜日			20	93	11	50	
		桔梗フォトクラブ	12	第3火曜日			9	130	11	153	
		布ぞうり同好会	24	第2・4木曜日					18	75	
		パソコン講座 すみれの会	47	毎週金曜日			41	426	42	389	
		詩吟サークル	24	第1・3金曜日			20	163	22	157	
		小物サークル		第1・3金曜日			9	77			
		土曜表装	12	土曜日			13	31	10	21	
		計	425		13	13	295	2,451	323	2,458	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R2 年度	R3 年度					
自立生活維持支援事業	1	教室	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		フラダンス教室	24	第2・4月曜日	各種運動を通じて、健康増進や体力作りを行うことによって、自立した生活が維持できることを目指す。			7	94	17	201	●事業回数は116回の目標予定だったが、緊急事態宣言による休館や、まん延防止重点措置の休講により24回が中止となり92回の実施となった。(3回は講師と日程調整し、振り替え開催ができた。)また受講生に電話で状況の確認と日程調整、報告をするとともに、実施できなかった分については、受講料を返金した。 ●教室前後に机や椅子を拭き、消毒するとともにソーシャルディスタンスがとれるよう、椅子の配置を工夫し、充分な距離の確保をして実施した。また、体調確認、マスクの着用、定期的な換気にご協力いただいた。 ●6月から追加募集を行い、各教室、新規の受講生を確保した。 ●バランスボール教室は、マスク着用のため、水分補給をする時間を設けたほか、有酸素運動に代えて体幹を鍛えるメニューを増やしたり、脳トレを取り入れ介護予防につながっている。エアコンプレッサーを使ってボールの空気を入れる作業など、ボランティアに準備、片付け等の協力を得ている。 ●「座ってガッツリ体操」と「軽運動」は事業の見直しのため令和2年度で終了した。
		バランスボールで目指せマリリン Monroe 教室	22	第1・3水曜日				19	249	18	257	
		俺がやる俺のためのバランスボール教室	22	第1・3水曜日				18	185	18	194	
		男のヨガ教室	24	第2・4水曜日				20	257	18	239	
		ピンピン100才を目指す体操教室	24	第1・3金曜日				19	357	21	371	
		座ってガッツリ体操教室		第2・4水曜日				19	123			
		軽運動教室		第1・3木曜日				17	190			
		計	116				13	13	119	1,455	92	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R2 年度	R3 年度					
多世代交流事業	1	各種イベント	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		雑巾作り	1	4月1日	複合施設の利点を活かし、子ども、高齢者、障がい者等、誰もが参加できるような事業を開催し、多世代交流や利用者間交流を図る。				中止	1	7	●新型コロナの感染拡大を受けて令和2年度は中止とした事業を、令和3年度は、密を避けるためにセンターごとに日を分けて同じテーマで開催したり、手指消毒、マスクの着用、体調管理(受付票の提出)、定期的な換気等のコロナウイルス感染防止対策をして、参加していただいた方にもご協力いただきました。 ●教室発表会は日頃の練習の成果の場として、障がい者センターと合同で発表会を実施した。 ●「秋のミニ作品展」は障がい者センターと、「冬のミニ作品展」は太平児童センターとそれぞれ合同で、日々丹精込めて制作された作品を3階ショーケースに順次展示し、多くの方々に見ていただく場を提供した。 ●しめ縄作りは、密を避けるために、日を分けて少人数で実施した。出来栄を参加者同士で見せ合いながら、記念撮影をして楽しんでいただけた。 ●「母子父子福祉センター交流会」は令和2年度でセンターの廃止に伴い終了。「七夕」は令和3年度から対象者を替えて地域交流事業として実施した。 ●令和4年度も、コロナウイルス感染の拡大状況をみながら、できる範囲で工夫して実施する。
		七夕		7月2日				1	119			
		母子・父子福祉センター交流会		8月11日 13日				2	14			
		太平でこぼこ選手権	1	10月7日					中止	1	64	
		でこぼこ大運動会	1	11月4日					中止	1	20	
		秋のミニ作品展	1	11月2日 ～26日				1	42	1	33	
		教室発表会	1	11月22日						1	26	
		冬のミニ作品展	1	12月2日 ～24日						1	28	
		花餅作り	1	12月23日				1	24	1	20	
		しめ縄作り	2	12月22日 12月23日						2	45	
		新春伝承遊び	1	1月6日				1	46	1	55	
		計	10					13	13	6	245	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和2年度の 実施状況		令和3年度の 実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、 課題分析、自己評価
						R2 年度	R3 年度					
地域 交流事業	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		わいわい教室	6	木曜日	誰もが参加 できるような 事業を開催 し、利用者間 交流を図る。 季節行事を 行い、地域 の仲間づくり や閉じこもり を予防する。			27	152	6	35	●わいわい教室は職員が講師を務め、認知症予防や、仲間作りを目的に季節の折り紙や工作を作成した。 教室前後の机や椅子の拭き消毒、マスク着用、少人数(10人以下)で、ソーシャルディスタンスをとり、道具の共有をなくし感染予防対策をしながら行った。当日参加も可能とし、娯楽室利用者に声掛けをしたり、老人センターの新規登録者には見学を勧め、参加を促した。簡単なストレッチをしたり、日常生活で気を付ける事などの資料を参考に皆で話し合ったりして工夫した。令和4年度は「いいい」に紹介記事を掲載して参加を呼びかける。 ●3階トイレリニューアルオープン記念として、この地域で古くからの風習である「トイレでうどん」のイラストと共にマスクを配布した。 ●3階ショーケース展示 絵手紙教室(4/27～5/25) 習字教室(6/3～7/1) ペン習字教室(7/7～8/4) 習字サークルこぶし(8/11～10/25) 水彩画水曜会(1/12～1/26) 桔梗フォトクラブ(3/15～3/31)
		七夕会	1	7月1日						1	125	
		3階トイレ オープン記念	1	12月17日 ～21日						1	126	
		教室サークル展示	6	通年						6		
		老人センター まつり		3月8日～ 11日				1	114			
		計	14			13	13	28	266	14	286	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R2 年度	R3 年度					
個人利用	1	各種	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		ヘルストロン			誰もが自由に訪れ、憩い、楽しめる空間づくり、仲間づくりができる場を提供する。				6,083		6,940	●利用者には「マスクの着用」「手指消毒」「受付票の記入」「使用後の拭き消毒」に協力していただき、人との距離を確保できるよう貼り紙や、声掛けで周知した。 ●囲碁・将棋は対面なので、斜めに座っていただき、1メートル以上の距離をとって対局していただくよう机や椅子の配置を工夫した。 ●定期的に拭き消毒、囲碁の基石や基盤の洗浄消毒、座布団カバーの洗濯を実施した。 ●感染拡大状況や天候により利用者数が減る傾向にあるものの仲間作りの場となっている。 ●自動血圧計は不特定多数の方が使用し、消毒が困難な理由により使用中止している。 ●運動器具は、呼気が激しくなることで感染リスクが高くなるため使用中止している。
		血圧測定						222		中止		
		運動器具						中止		中止		
		囲碁・将棋						1,465		1,160		
		ビリヤード						624		536		
		その他						440		652		
		計	—			—	—		8,834		9,288	
老人クラブの支援	1	各種	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		多悠連理事会	6	偶数月第3金曜日	多治見市悠光クラブ(多悠連)の事業が円滑に行われるよう連携を図る。	4	4	2	51	6	146	●多悠連の会議や事業に参加・協力し連携を図った。事業の実施にあたり、必要に応じて指導・支援を行った。 ●社協が地域福祉事業を推進していく中で、関係団体の1つとして連携を強化している。 令和4年度も引き続き、必要に応じて協力対応する。
		多悠連総会	1	5月13日					中止		中止	
		スポーツ大会	1	11月4日				1	145	1	160	
		多悠連演芸大会	1	9月25日					中止		中止	
		計	9			10	10	3	196	7	306	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和2年度の実施状況	令和3年度の実施状況	取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価		
						R2年度	R3年度					
各種相談事業	1	各種相談事業	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		各種相談事業		随時	高齢者の生活や健康に関する相談に応じ、適当な援助、関係機関と連携を図っていく。				39		96	●老人福祉センターはどのような利用ができるのか、教室や仲間作りなど出来る場はないかとの問い合わせが多かった。中には本人に代わって、家族が相談に来所される方もあった。施設の案内と共に、気軽に参加できる教室や、季節行事、単発事業なども紹介して利用につながるよう努めた。 ●一人暮らしの不安や、介護に関する相談や申請などの相談は地域包括包括支援センターや関係部署とも連携を取りながら対応した。
		計	—			11	12		39		96	
生業及び就労支援事業	1	相談事業	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		高齢者就業相談	12	第2金曜日	高齢者の生業及び就労等について指導を行う。	4	4	10	8	11	5	●毎月1回、相談日を設け、シルバー人材センターの協力を得て相談事業を実施した。直接に職業の斡旋することはできないため、シルバー人材センターやハローワークの紹介に留まっている。広報に掲載し、相談日の周知に努めた。 ●相談日には利用者にわかりやすい様、エレベーター前に案内掲示することで、利用を促した。 ※9月は新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館のため中止
		計	12			10	10	10	8	11	5	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R2 年度	R3 年度					
独自事業	2	その他教室	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		チャレンジ (単発教室)	1	随時	様々な企画を提供する中で、老人センターのPR及び教室の立ち上げに繋げていく。			8	108	1	18	●利用者アンケート等でニーズを集め、高齢者の関心が高い事などを単発事業として実施しており、今回は園芸教室を開催した。「いこい」への掲載や、各教室で呼びかけ募集を行った。初めて老人センターを利用される方や、年間通じては続けて参加できない方に案内し参加してもらうことで、老人センターのPRや仲間作りのきっかけになった。(12/20) ●老後あんしん講座は「多治見ストーリー」の協力で、各老人センターで実施した。新型コロナウイルス感染拡大により参加人数にばらつきがあるものの、講義の内容に関心が高い様子であった。同時に老人センターの事業もPRすることが出来た。マスク着用、机一台に一人の利用で、ソーシャルディスタンスをとるため、30名の事前予約制とし、換気及び机や椅子の拭き消毒を実施した。講義後には要望に応えることが出来るよう、質問時間を設けたり、アンケートを実施した。
		老後あんしん講座	9	随時	これまでの人生を見つめ、また、これからの人生をどのように生きていきたいか、思い描くきっかけになるような講座を企画し、老人福祉センターのPRと新規利用者の拡大を図る。			7	132	7	150	4/22 遺品整理・生前整理 5/27 未支給年金と死後の手続き 6/24 知って損しない不動産売却 10/28 知って損しない建物解体 11/25 年金と終活 1/20 遺言書、認知症から財産を守る 3/24 生前整理・遺品整理 ※9月と2月は中止とした。
		計	10			13	13	15	240	8	168	

(留意事項) ※『区分欄』は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は『1』、協定書等がない自主事業は『2』を記入。